

平成26年度第2回都道府県肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会  
平成27年1月16日(金)

# 肝炎情報センターの活動報告

国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター  
肝炎情報センター長  
正木尚彦

意見交換会

「北海道ブロックにおける肝疾患診療のあり方について」

日時：平成26年5月26日(月) 15:30～17:00

会場：札幌第1合同庁舎10階 共用第3・第4会議室  
札幌市北区北8条西2丁目1-1

対象：行政(厚生労働省、北海道庁、札幌市、旭川市、函館市、小樽市)  
北海道3拠点病院の事業担当者、事務担当者

プログラム

1. C型慢性肝疾患に対するIFN治療における地方圏差について(厚生労働科学研究)  
肝炎情報センター長 正木尚彦
2. 道東・道北地区における肝疾患診療の実態～フィールドワーク研究からの  
考察～  
旭川医科大学教授 高後 裕
3. 総合討論

独立行政法人国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター 主催  
平成26年度第1回 **肝疾患診療連携拠点病院間連絡協議会**

日時：平成26年7月18日（金）10:00～12:00

66拠点病院から125名参加

場所：独立行政法人国立国際医療研究センター病院 国際医療協力研修センター  
5階大会議室 〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1 TEL: 03-3202-7181

## プログラム

- 1) 肝炎情報センター活動報告 肝炎情報センター長 正木尚彦
- 2) 我が国の肝炎対策について～新たな取り組みを中心に～ 厚生労働省 久永拓郎肝炎対策専門官
- 3) 院内連携に関する事例提供（公募）
  - ①「院内のHBs抗原陽性あるいはHCV抗体陽性患者の拾い上げ対策とその成果」  
関西医科大学附属滝井病院 消化器肝臓内科 川村 梨那子
  - ②「当院・関連病院における肝炎ウイルス感染者拾い上げの試み」  
大阪市立大学肝胆膵内科 榎本 大
  - ③「B型肝炎診療情報コード化自動チェックシステムによる  
de novo肝炎発生防止について」  
福井済生会病院内科 野ツ俣 和夫
- 4) 「効率的な肝炎ウイルス検査陽性者フォローアップシステムの構築について  
（厚生労働科学研究）」 肝炎・免疫研究センター 肝疾患研修室長 是永 匡紹
- 5) 総合討論、特別発言 日本医師会常任理事 小森 貴

独立行政法人国立国際医療研究センター 肝炎・免疫研究センター 肝炎情報センター 主催  
平成26年度第1回 **肝疾患診療連携拠点病院医師向け研修会**

- 日 時：** 平成26年7月18日（金） 13：00～16:15
- 会 場：** 独立行政法人 国立国際医療研究センター病院  
国際医療協力研修センター 5階大会議室  
〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1 TEL：03-3202-7181(代)
- 対 象：** 都道府県肝疾患診療連携拠点病院に勤務する医師  
(原則として1病院あたり各1名の参加とします。また、個別の申し込みには  
応じておりません。ご了承ください)

プログラム

58拠点病院から79名参加

- 
- |                            |   |
|----------------------------|---|
| 1. 「出口戦略を見据えたわが国の臨床試験のあり方」 | 国立国際医療研究センター<br>臨床研究センター 臨床研究支援部<br>臨床研究相談室長 小早川 雅男 |
| 2. 「肝炎ウイルス研究の今後」           | 国立感染症研究所 ウイルス第二部<br>部長 脇田 隆字                        |
| 3. 「これからのC型肝炎治療」           | 関西労災病院<br>病院長 林 紀夫                                  |
-

# 50拠点病院から55名参加

日時	講義内容	
9:00~ 9:30	受付	
9:30~ 9:40	開講式 オリエンテーション	肝炎・免疫研究センター長 溝上 登史
9:40~ 9:45	国府台病院院長挨拶	病院長 上村 浩実
9:45~ 9:50	本会挨拶	厚生労働省健康司疾病対策課 肝炎対策推進室
9:50~ 10:30	糖尿病カンパニーションマップから学ぶ	国立国際医療研究センター 糖尿病内分泌代謝科 医長 岸本 美也子
10:30~ 10:40	休憩	
10:40~ 11:20	C型肝炎治療の最新情報	肝炎・免疫研究センター長 溝上 登史
11:20~ 12:00	アルコール依存症への理解を深める	独立行政法人国立病院機構 久松浜医療センター 精神科診療部長 木村 充
12:00~ 13:00	昼食	
13:00~ 13:35	講義①慢性肝炎患者の看護	独立行政法人国立病院機構 長崎医療センター 寺尾 敦
13:35~ 14:10	講義②肝炎診療連携拠点病院事業における看護師の役割	埼玉医科大学病院 杉澤 美穂
14:10~ 14:45	講義③病棟と外来との院内看護師連携はうまく回っているか	名古屋市立大学病院 向谷 登貴子
14:45~ 15:05	休憩 (グループワークに優先機の部へ戻す)	
15:05~ 15:40	講義④肝炎患者の在宅医療における現状と課題 (地域スタッフから拠点病院への要望)	医療法人ロコモディカル江口病院 地域医療連携室 室長 倉田 順子
15:40~ 17:00	グループワーク	
8:30~ 9:00	受付	
9:00~ 9:15	記念写真撮影	
9:15~ 12:00	グループワーク	
12:00~ 13:00	昼食	
13:00~ 14:40	発表 各10分(代表 × 9グループ) 質疑応答	
14:40~ 16:00	閉講式 修了証授与	

\*講義時間には質疑・応答の時間を含みます。



市川市国府台



# グループワークのテーマ

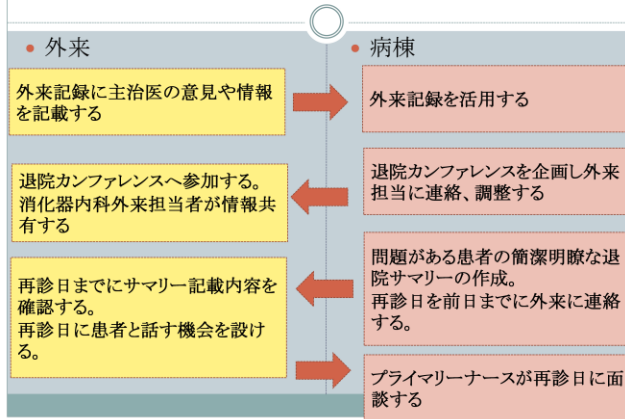
1. 難治性腹水患者への看護
2. 肝疾患診療拠点病院事業における看護師の役割
3. 病棟と外来の院内看護師連携はうまく図られているか

看護師さんを始め、スタッフの皆さんに  
「拠点病院の一員であること」をご指導願います

## 2. 現状について

- 拠点病院として看護師の役割の前に病院全体として拠点病院の役割を把握できていない
- 看護師が自発的に新しい情報を収集することが不足している
- 患者の方が薬剤や治療について調べており、情報を得ていることがある

## 3. 今後の取り組み



## 4. 継続看護に関する課題

病棟スタッフと地域スタッフのニーズとの差  
例)ICする際に絶対に必要な家族、退院前の最後のICを誰に行ったか、または詳細な行動レベルの申し送り

患者さんの情報を伝えられているはず...



病棟から外来へ帰るサマリーの内容の中で、ほしい情報がない!

外来看護師  
地域スタッフ



# 肝炎情報センターとしての今後の活動方針(案)

～平成27年度に向けて～

## 1. 拠点病院事業の活性化に貢献

ブロック単位での意見交換会(拠点病院、行政)等を企画



## 2. 一般向け啓発ツールの作成

肝疾患相談センターの認知度を高めるための「しおり」を作成

## 3. 肝炎情報センターホームページのさらなる改訂

「患者さん・一般向け」を主軸とした構成に大改訂



## 4. 各種の政策・実用化研究への協力、実施

(本日、厚生労働科学研究 田尻班「若年HBV肝癌の疫学調査」をご紹介)

平成27年度第1回の連絡協議会を7月31日(金)に予定しています